

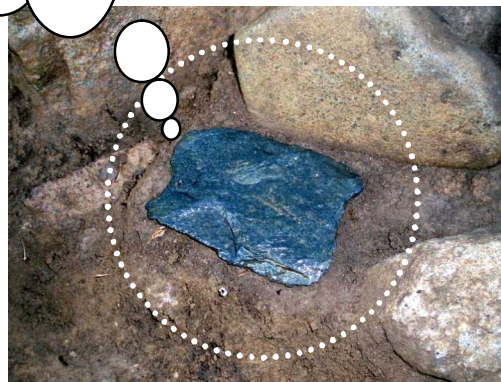
# 女夫石遺跡発掘調査速報

## No.44

今日も寒いぞ！冬だから当たり前だけどね！さーところでこれまで縄文時代では中期のことばかり紹介していましたが、実は縄文時代晩期という、もうすぐ弥生時代の声か聞こえてくる頃にも、女夫石遺跡には人が生活していたのです。しかも、打製石包丁（だせいいしほうちょう）が縄文時代晩期最終末（ちなみに西日本では弥生時代にもあります）の土器と一緒に出てきたのです。石包丁は皆さんご存知の通り、稲穂（いねほ）を刈（か）り取る道具です。ということは穀物を栽培していたという間接的な証拠になるんです。ところで、どこに田んぼはあるのでしょうか？



皆さんのイメージしているのは磨製（ませい）石包丁だと思います。これは打製（だせい）石包丁です！



藤井平の宮ノ前遺跡では水田跡が発掘調査で確認されています。県内最古の弥生時代の水田跡です。昔も今も「米どころ」だったんだね！



沢リ：いつも見る土器と違った感じの土器が出ているね。それに薄っぺらい石器も一緒に出ているみたいだよ。

マキ：いつも見るのは縄文時代中期の土器だけど、これは縄文時代晩期の土器なんだってさ。とってもシンプルだよ。同じ縄文時代の土器とは思えないね。

沢リ：薄い石器はなんだろうね？打製石斧（だせいせきぶ）じゃないし・・・。

マキ：打製石包丁（だせいいしほうちょう）なんだってさ！

沢リ：教科書でよく見るものと違うよ。

マキ：教科書のは磨製（ませい）石包丁なんじゃないかな？

沢リ：石包丁があるってことは、女夫石縄文晩期人は稲作をしていたということかな？

マキ：その可能性は高そうだよ。でも、穂先を刈り取る道具なら稲以外の穀物に使った可能性もあるかもね。女夫石遺跡近くだと水田を作るには水の便が悪いし、近くで作っていたとしたら広い水田は無理そうだから、米にだけたよる様な生活じゃなかったのかな？

沢リ：でも、藤井平では東日本で最古級の水田跡が発見されているよね。

マキ：そうだね、宮ノ前遺跡（現北東小学校）で発見されているね。一緒に出てきた土器は、女夫石遺跡で今回出たものとほとんど同じものらしいね。

沢リ：他の遺跡のことも知っておくと色々面白いね！それにしても縄文時代と弥生時代の境目は簡単に分けることができないんだね。（つづ）

模様は口縁（こうえん）に3本の線が刻まれているだけで、胴部には模様はないね。縄文時代晩期の土器なんだってさ。中期の立体的な模様とは似ても似つかないね。縄文土器といっても、時期によって色々な特徴があるんだね。一緒に薄くて四角い石器が出てくるけど、両端に抉り（えぐり）があるね、石包丁（いしほうちょう）らしいよ。